

黒部商工会議所管内景況調査 結果報告 (平成 29 年度 第 1 四半期)

1. 調査概要

対象期間 平成 29 年 4 月～6 月の実績及び平成 29 年 7 月～9 月の見通し
調査項目 売上・採算性・資金繰り・仕入単価・従業員・業況に関する DI 値
対象企業 黒部市内事業所 127 社
調査方法 対象事業所にアンケート用紙を郵送

回答状況	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
依頼数	17	14	7	36	53	127
回答数	13	14	5	17	19	68
回答率	76.5%	100.0%	71.4%	47.2%	35.8%	53.5%

※「全国」の結果は日本商工会議所 LOBO 調査を利用したが、この調査は毎月実施されており、黒部市の調査結果との比較にあたっては該当期間 3 ヶ月間の平均値を用いている。

※DI 値は各調査項目に対する判断を表す指数であり、景気の上向き傾向を表す回答割合が多いとプラス、下向き傾向を表す回答割合が多いとマイナスとなる。

※グラフの点線部分は来期（平成 29 年度第 2 四半期）の先行き見通しを表す。また、▲はマイナスを表している。

2. 今回調査のポイント

売上 DI が大幅改善。仕入単価や人件費の上昇による採算性悪化が懸念材料。

今期の業況 DI は▲14.7（前期比 10.0 ポイント増）と 3 期連続の改善となり、6 四半期ぶりに全国平均を上回った。売上 DI が▲4.4（前期比 20.3 ポイント増）と、すべての業種で前期から 2 桁の増加となり、景況感の改善に寄与した。特に製造業は業況 DI が唯一プラスと好調さを維持しており、全体を引き上げた。

先行き見通しは▲14.7 と今期不変。回答の内訳も今期から大きな変化はなく、現状維持との見通しが大半を占めている。仕入単価や人件費が上昇傾向にあり、コスト負担の増加による採算性の悪化が懸念される。

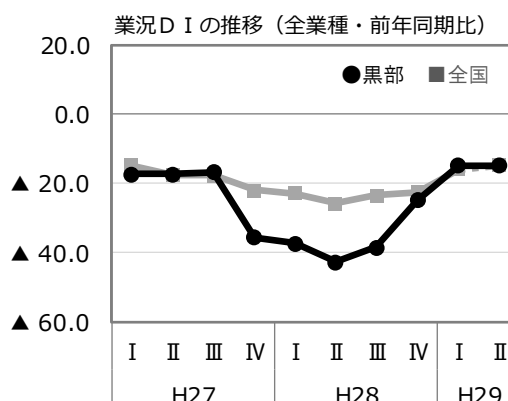
3. 調査項目別の結果概要

業況DI

今期の業況DIは▲14.7（前期比10.0ポイント増）と3期連続の改善。「悪化」から「横ばい」への変化によるもので、実体は前期横ばいだが、6四半期ぶりに全国平均を上回った。全業種で前回調査を上回り、特に製造業・サービス業は改善幅が大きかった。

先行きは▲14.7と今期不変。いずれの業種も目立った動きは見られず、今期の水準を維持できる見込み。仕入単価や人件費の上昇による採算性の悪化が懸念材料で、売上の改善ペースが鈍化すれば、業況判断にも影響が出そうである。

	前期	今期	先行き
全国	▲22.4	▲16.0	▲14.7
黒部	▲24.7	▲14.7	▲14.7
建設	▲20.0	▲15.4	▲7.7
製造	0.0	21.4	14.3
卸売	▲50.0	▲40.0	▲60.0
小売	▲50.0	▲47.1	▲41.2
サービス	▲21.4	▲5.3	▲5.3

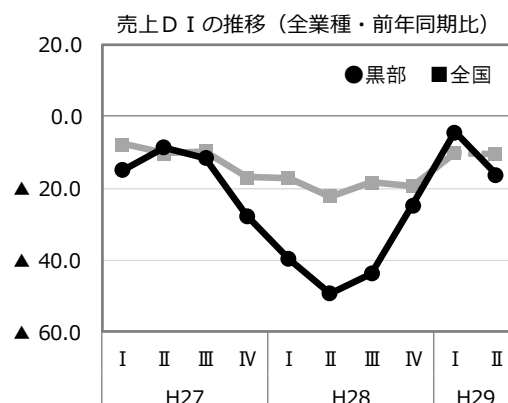


売上DI

今期の売上DIは▲4.4（前期比20.3ポイント増）と、前回に引き続き大幅に改善。いずれの業種も前期から2桁の増加となり、2年前（平成27年第1四半期）を超える水準まで回復した。製造業が42.9と、全国や北陸の平均値と比べても好調さが際立つ結果となった。

先行きは▲16.2（今期比11.8ポイント減）と今期を下回る見通し。「減少」との回答は増えておらず、「横ばい」との回答増加が原因で、実体は横ばいと言えそう。一方で、製造業は「増加」との回答が増え、先行きも好調さが続く見込み。

	前期	今期	先行き
全国	▲19.3	▲10.2	▲10.3
黒部	▲24.7	▲4.4	▲16.2
建設	▲20.0	▲7.7	▲23.1
製造	28.6	42.9	21.4
卸売	▲50.0	▲20.0	▲20.0
小売	▲66.7	▲47.1	▲41.2
サービス	▲25.0	5.3	▲15.8

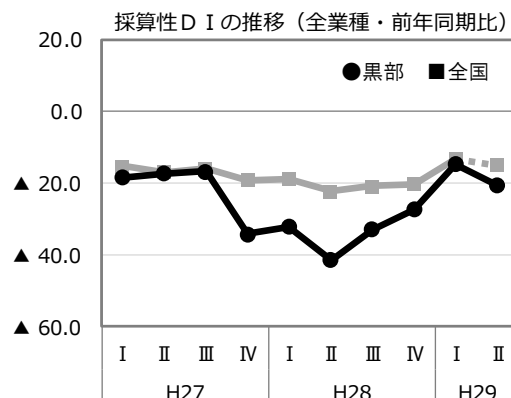


採算性 D I

採算性 DI は今期▲14.7（前期比 12.6 ポイント増）と 3 期連続で改善し、全国平均との差が縮まった。製造業は「好転」との回答が増え、前期から 21.4 ポイント改善したほか、小売業やサービス業も持ち直しの動きを見せ、全体を押し上げた。

先行きは▲20.6（今期比 5.9 ポイント減）と悪化。「好転」から「横ばい」への変化によるもので、実体は横ばいと言えそう。売上は好調に推移しているものの、仕入単価や人件費の上昇は今後も続く見通しで、コスト増加の懸念から慎重な判断が多くなっているようである。

	前期	今期	先行き
全国	▲20.2	▲13.1	▲15.0
黒部	▲27.3	▲14.7	▲20.6
建設	▲20.0	▲15.4	▲30.8
製造	14.3	35.7	14.3
卸売	0.0	▲40.0	▲20.0
小売	▲61.1	▲47.1	▲47.1
サービス	▲32.1	▲15.8	▲15.8

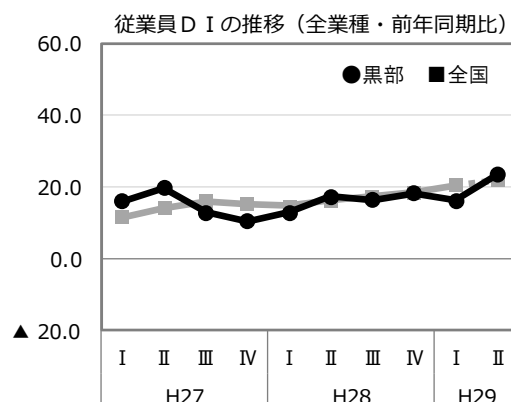


従業員 D I

今期の従業員 DI は 16.2（前期比 2.0 ポイント減）とほぼ前期横ばい。「過剰」との回答がわずかに増えたものの、「不足」と回答した事業所数は前回調査と変わらず、依然として人手不足の状態が続いているようである。

先行きは 23.5（今期比 7.3 ポイント増）と再び不足感が強まる見込み。「過剰」との回答はわずかに 2 事業所しかなく、人手不足に関するコメントも複数寄せられた。全国的にも労働力の確保が課題となっており、人材確保に苦慮している事業所が多いようである。

	前期	今期	先行き
全国	18.4	20.5	21.9
黒部	18.2	16.2	23.5
建設	33.3	23.1	23.1
製造	21.4	42.9	50.0
卸売	0.0	20.0	20.0
小売	11.1	0.0	5.9
サービス	14.3	5.3	21.1

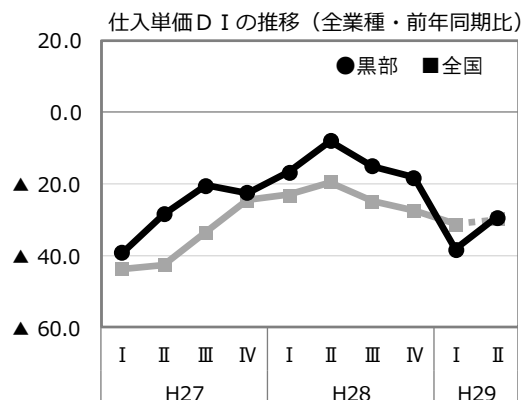


仕入単価 D I

仕入単価 DI は今期▲38.2（前期比 20.0 ポイント減）と大幅に悪化。特に製造業が▲57.1（前期比 42.8 ポイント減）となり、前回を大幅に下回った。そのほかの業種でも「低下」との回答はほとんどなく、仕入単価は上昇傾向にあるようである。

先行きは▲29.4（今期比 8.8 ポイント増）と改善予想だが、回答に大きな変化は見られず、実体は今期横ばい。人手不足に伴う人件費上昇と併せて、コスト負担の増加による採算性の悪化を懸念する事業所が少なくないようである。

	前期	今期	先行き
全国	▲27.5	▲31.1	▲29.8
黒部	▲18.2	▲38.2	▲29.4
建設	▲20.0	▲30.8	▲30.8
製造	▲14.3	▲57.1	▲28.6
卸売	0.0	▲40.0	▲20.0
小売	▲27.8	▲52.9	▲41.2
サービス	▲14.3	▲15.8	▲21.1

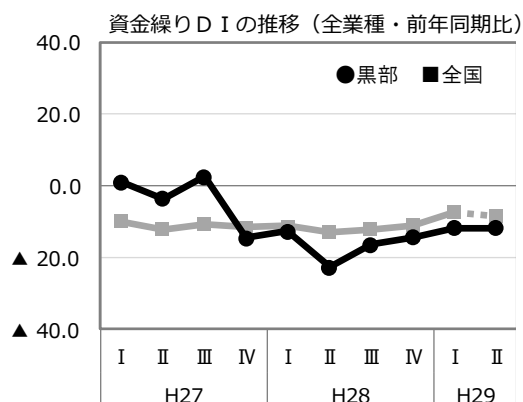


資金繰り D I

今期の資金繰り DI は▲11.8（前期比 2.5 ポイント増）となり、3期連続の改善。建設業が▲7.7（前期比 19.0 ポイント増）となったほか、小売業・サービス業も改善。全体的に「横ばい」との回答が多く、資金繰りは安定した動きを示している。

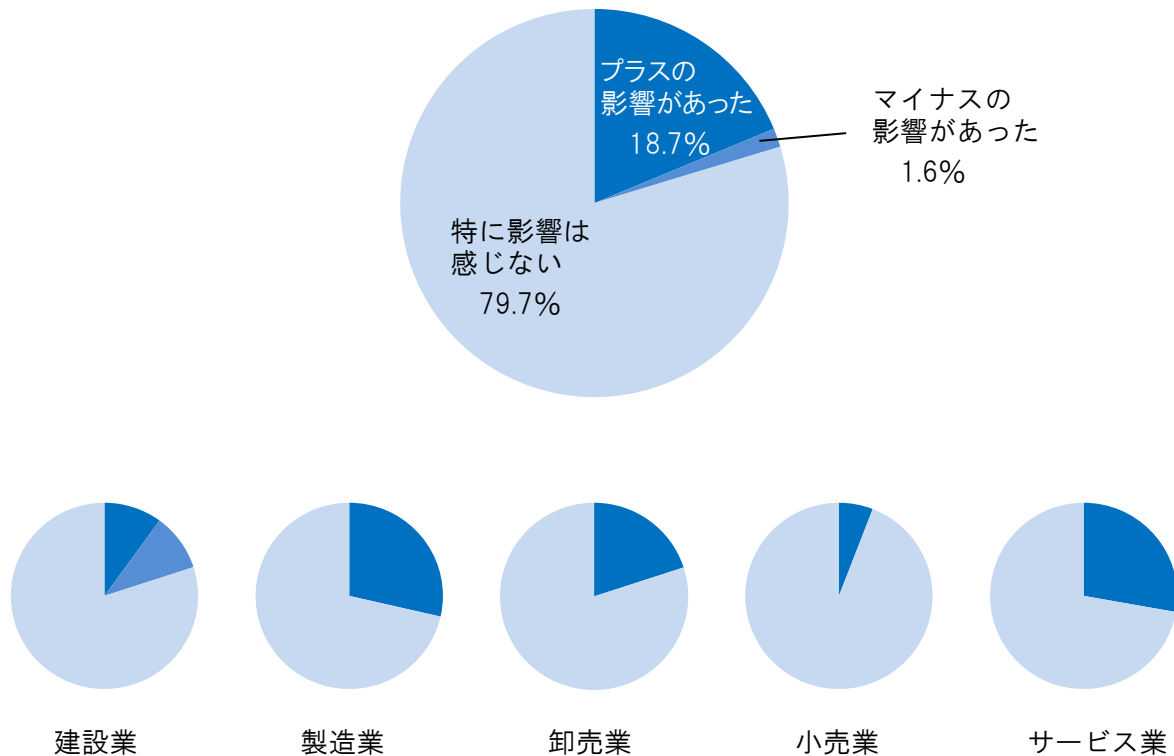
先行きは▲11.8 と今期と変わらず、業種別にみても目立った動きはなかった。今期に比べ 5.9 ポイントの減少となった小売業も、「悪化」との回答は増えておらず先行きは横ばい予想。DI 値は依然としてマイナスであるものの、今後もゆるやかな改善が続く見通し。

	前期	今期	先行き
全国	▲11.1	▲7.4	▲8.4
黒部	▲14.3	▲11.8	▲11.8
建設	▲26.7	▲7.7	▲7.7
製造	21.4	14.3	14.3
卸売	0.0	▲40.0	▲40.0
小売	▲33.3	▲29.4	▲35.3
サービス	▲14.3	▲10.5	▲5.3



4. アンケート：北陸新幹線の開業効果について

●どのような効果がありましたか？



●具体的にどのような効果がありましたか？

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村に比べて民間の設備投資が増えた。 ・公共工事・投資の減少。
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・お土産用の袋の需要が生まれた。 ・観光関連の特需があった。 ・首都圏で北陸フェア等の出荷があった。今はもう開業効果はない。
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・単価アップ ・開業までは大変な小バブルに感じられたが、開業後は落ち込みが厳しすぎ、ショックを受けた。

北陸新幹線の開業効果について質問したところ、「特に影響は感じない」が約8割を占めた。「プラスの影響があった」との回答は2割にとどまり、効果の波及は限定的と言えそうである。

製造業やサービス業では、観光関連の特需から「プラスの影響があった」との回答が約3割あったが、建設業は開業前の駆け込み需要の反動で公共工事が減少するなど、開業効果の実感には業種によってばらつきがみられた。北陸新幹線開業から2年が経過し、「今はもう開業効果はない」とのコメントもあり、今後は経済への波及と効果の持続が課題となりそうである。

5. 事業所コメント

建設	仕事の取り合いに巻き込まれました。
	対暑対策で大変です。
製造	人材不足で求人応募者のレベルが低く、採用しても使いものにならず、苦勞させられる。
	業績は順調に推移しております。年初に懸念された原料不足と値上げも落ち着いており、下期に向けた不安材料も現時点では少なく、今後も順調と見込んでおります。
	材料の高騰により厳しい状況。従業員不足も重なり先行き不透明。いろいろな選択肢も考慮しなければならない現状。
卸売	“春はあけぼの”は自然界だけの話のようだ。
	小売業の減少や100円ショップやインターネットでの利用が多くなって、売上がなかなか増加にならない気がします。現状維持でがんばりたいです。
小売	時代の変化が早すぎる。
	今後も地域一番便利な店、楽しい店に努力していきます。
サービス	徐々に売上も回復しつつあるような気配だけ…
	以前より時間が遅いように感じる。ゆったりしているよう？日々追われているが。
	客先からの業務依頼が立て込む状態が続いており、日程調整しながら1つずつ終わらせていく状況です。
	福祉サービスの職場ですが、とにかく人員不足です。